



2019年8月8日

各 位

会社名 株式会社 T A T E R U  
代表者名 代表取締役 CEO 古木 大咲  
(コード番号: 1435 東証第一部)  
問合せ先 取締役執行役員 CFO 高杉 雄介  
(TEL. 03-6447-0651)

減損損失の計上及び2019年12月期通期連結業績予想に関するお知らせ

当社は、2019年12月期第2四半期連結決算におきまして減損損失の計上をいたしましたのでお知らせいたします。また、非開示としておりました2019年12月期の連結業績予想について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 減損損失計上の背景及び内容

当社及び一部の子会社が保有する事業用資産の一部について、当社グループの今後の収益見通しを見直した結果、当該資金生成単位（資産グループ）の回収可能性が帳簿価額を下回ることとなったため、回収可能価額まで減額し、874百万円を減損損失として計上いたします。

減損損失の内訳といたしましては、有形固定資産が425百万円、無形固定資産が444百万円、投資その他の資産が4百万円となっております。

2. 2019年12月期通期連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

2019年12月期の通期連結業績予想につきましては、「2019年12月期第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」公表時において、合理的な業績予想の算定が困難であるため、非公表としておりましたが、この度新たな事業計画に基づく業績予想の精査が完了しましたので、公表いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	19,492	△7,916	△8,311	△10,599	△119.40
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2018年12月期)	79,149	721	507	821	9.70

**【前期実績との差異の理由】**

連結売上高にしましては、2018年12月期に発覚した主力事業である TATERU Apartment 事業における一連の問題による影響により、アパートの引渡棟数が減少した結果、前期実績を下回る予想となりました。

連結営業利益、経常利益にしましては、上記の連結売上高の減少に加え、新たな事業資金確保のための販売用不動産の一括売却による譲渡損失 31 億 98 百万円の計上等により、前期実績を下回る予想となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益にしましては、財務体質の強化及び資産効率の向上を図り今後の持続的な成長に向けた構造改革を進めるため、前述の減損損失 874 百万円の計上に加え、関連会社株式売却益 60 百万円の計上や関係会社株式譲渡損失引当金 11 億 33 百万円、早期退職制度の実施による 281 百万円の特別損失の計上等により、前期実績を下回る予想となりました。

(注) 上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上